

令和3年度 猪名川町・中学校 学習到達度調査の結果について

■ 調査目的

- 猪名川町内の中学校生徒の学習状況を調査し、学習指導要領に定められた学習内容の定着状況を把握するとともに、今後の学力向上および指導の改善に資する。

■ 調査内容

- 調査目的に基づき、学習指導要領に定める内容について、基礎・基本および活用の力を測る問題で構成した。

■ 調査対象

- 猪名川町内の公立中学校2年生の生徒
- 調査対象教科は、国語・数学・英語

■ 調査日

令和3年5月27日（木）

■ 調査結果

【中学校の調査結果】

		猪名川町全体 正答率 (%)	目標値 (%)	全国平均 正答率 (%)	受験者数 (人)
中学校・ 2年生	国語	67.7	65.3(+2.4)	68.5(▲0.8)	317
	数学	60.8	59.7(+1.1)	58.6(+2.2)	317
	英語B	59.8	56.8(+3.0)	54.7(+5.1)	317

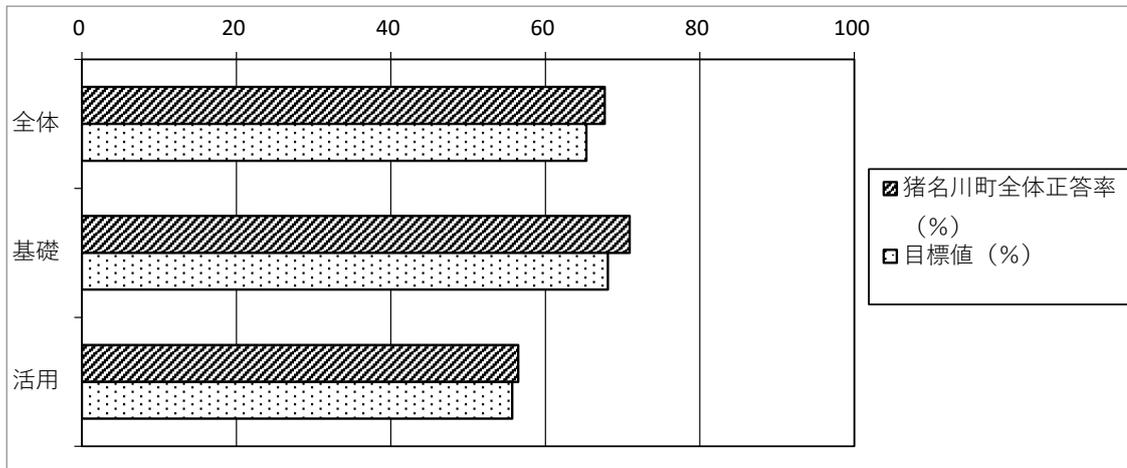
※「目標値」とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合。出題の形式や解答の形式により、難易度を算出する。

- 町全体の正答率は、国語・数学・英語ともに目標値を上回っている。

■ 中学2年生 国語

(1) 基礎・活用正答率

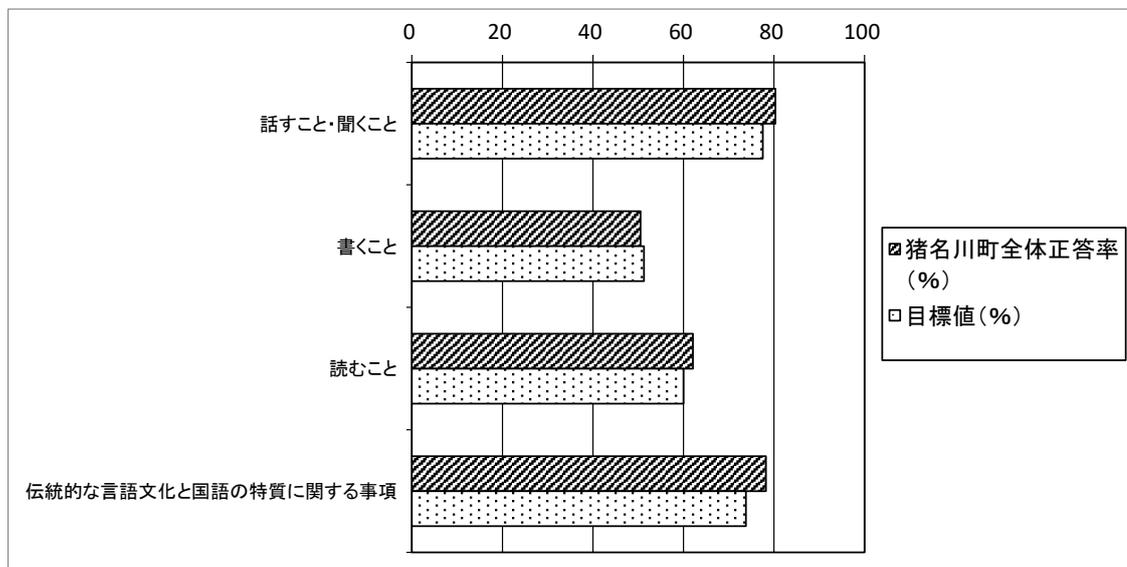
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	67.7	70.9	56.5
目標値 (%)	65.3	68.1	55.7
目標値との差	2.4	2.8	0.8



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は70.9%と目標値を2.8ポイント上回っている。活用問題については、56.5%と目標値を0.8ポイント上回っている。

(2) 領域別正答率

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
猪名川町全体正答率 (%)	80.3	50.5	62.1	78.2
目標値 (%)	77.5	51.3	60.0	73.8
目標値との差	2.8	▲0.8	2.1	4.4

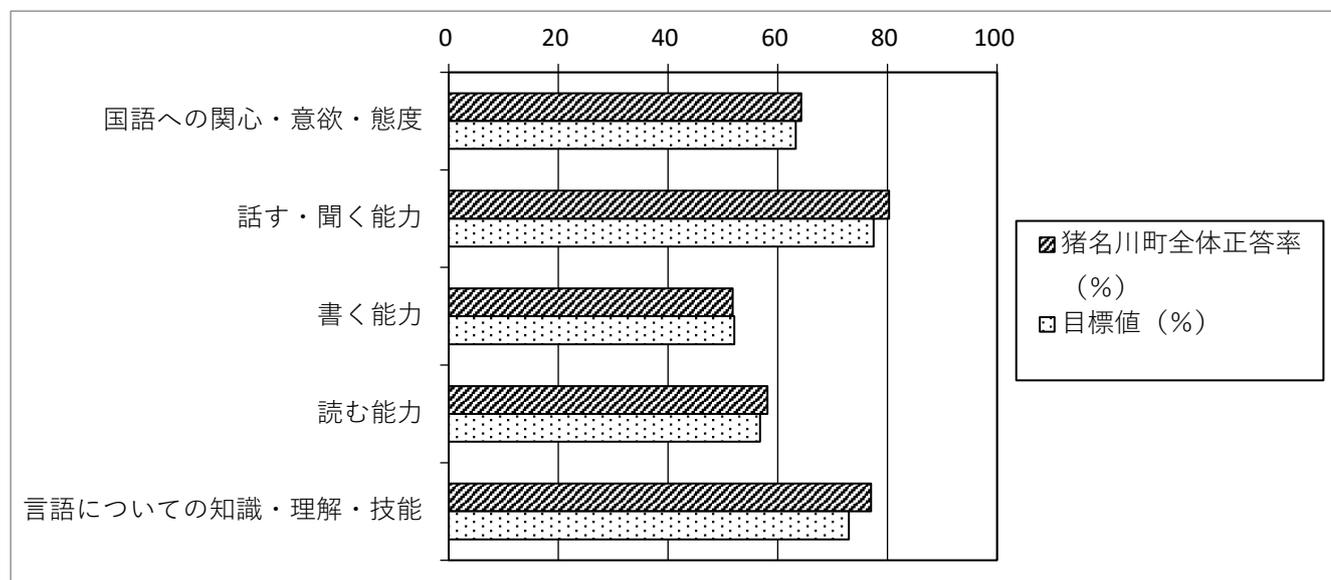


●領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の項目が目標値を上回っている。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

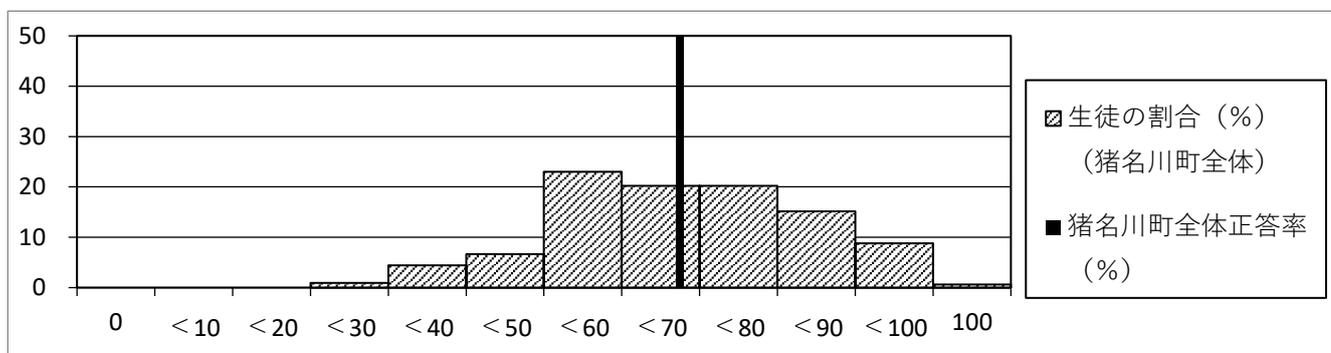
	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
猪名川町全体正答率 (%)	64.3	80.3	51.8	58.1	77.0
目標値 (%)	63.3	77.5	52.1	56.8	73.0
目標値との差	1.0	2.8	▲ 0.3	1.3	4.0



●観点別に見ると、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の項目が目標値を上回っている。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.0	0.0	0.9	4.4	6.6	23.0	20.2	20.2	15.1	8.8	0.6



●町全体では、正答率80%以上の生徒が24.5%と、令和元年度の33.8%より減少した。正答率50%未満の生徒は11.9%と、令和元年度の17.1%から減少した。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問1(1)

【話し合いの内容を聞き取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	78.9	85.0	▲ 6.1	84.1	▲ 5.2
出題のねらい	聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。				
対策	本問では、話し手の一人が、最初に自分の提案を簡潔に話し、その後で具体的な内容を話している。こうした話し方の工夫は、話し手にとっては自分の意見を整理するのに役立ち、聞き手にとっては内容を理解しやすくなるというよさがある。発表学習において、発表の仕方が優れていた場合には、皆の前でそのよさを紹介し、共有することが大切である。				

大問3(2)

【文法・語句に関する知識】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	48.6	60.0	▲ 11.4	65.1	▲ 16.5
出題のねらい	単語について理解している。				
対策	文を単語に分けたときに、上から4番目になる単語を抜き出す問題である。文節や単語について十分に理解していれば、文を単語に分けることができる。文を文節に分け、さらに単語に分けていくことを形式的に指導するのではなく、自立語と付属語の大別、品詞の分類など、それぞれの単語の性質や働きも含めて理解させることが大切である。				

大問5(3)

【文学作品の内容を読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	44.2	50.0	▲ 5.8	48.4	▲ 4.2
出題のねらい	登場人物の心情の変化をとらえることができる。				
対策	登場人物の心情の違いや変化を読み取ることは、小説や物語の基本的な読み方である。本問では、場面ごとの部分的な心情だけではなく、文章全体を通しての心情の違いや変化を読み取らなければならない。最初に文章を読む際に、登場人物の心情が分かりやすく表現されている箇所や、状況の変化とともに心情にも変化が見られる箇所などについて、傍線を引いたり印を付いたりしながら読み進めることがポイントとなる。全体を通しての心情の違いや変化をある程度押さえられれば、関連した場面での心情を捉えることが容易になる。				

大問6(3)

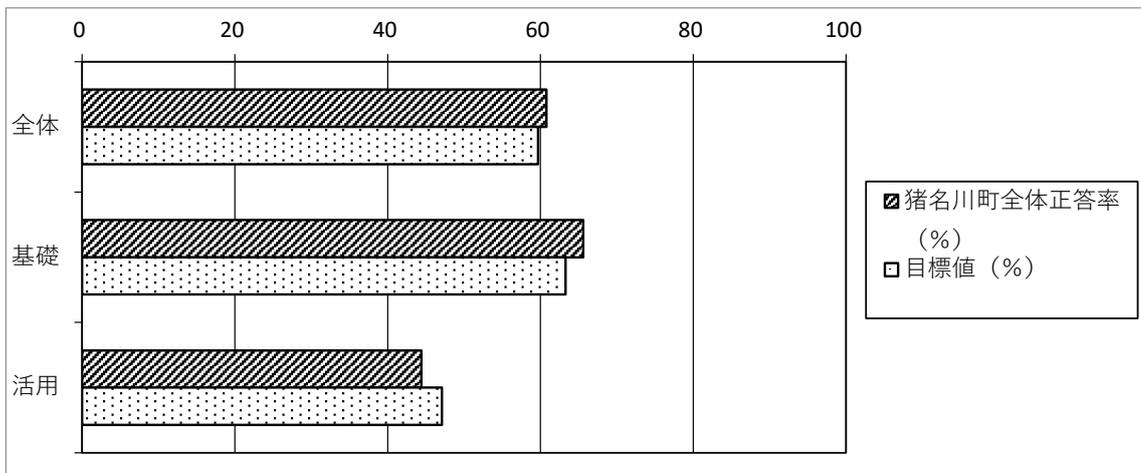
【食品ロスについてレポートを書く】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	21.6	30.0	▲ 8.4	26.0	▲ 4.4
出題のねらい	伝えたい事実や事柄について自分の考えを明確にして書くことができる。				
対策	本問では、「3 考察」と【関根さんの考え】を比較しながら考える。【関根さんの考え】の「③のグラフから分かる不十分な点を全て挙げ」という部分から、「3 考察」には、③のグラフにある取り組みが全て述べられていることが分かる。そこで、それらの中から、「3 考察」の文章にない「冷蔵庫にある食材を確認してから買う」と「食材を無駄なく使う調理法を調べる」ことを書けばよい。このようにテキストを比較して、情報と情報との関係を考えたり、整理したりする機会が増えている。授業でも、そうした学習活動を工夫していきたい。				

■中学2年生 数学

(1) 基礎・活用正答率

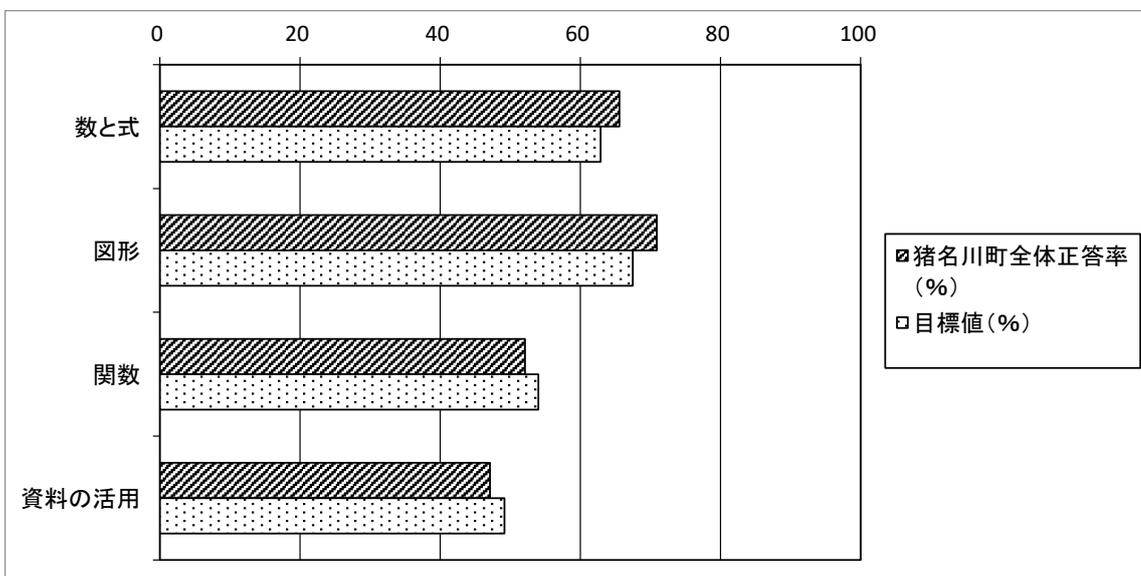
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	60.8	65.6	44.4
目標値 (%)	59.7	63.3	47.1
目標値との差	1.1	2.3	▲ 2.7



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は65.6%と目標値を2.3ポイント上回っている。活用問題は44.4%と目標値を2.7ポイント下回っている。

(2) 領域別正答率

	数と式	図形	関数	資料の活用
猪名川町全体正答率 (%)	65.6	70.9	52.1	47.1
目標値 (%)	62.9	67.5	54.0	49.2
目標値との差	2.7	3.4	▲ 1.9	▲ 2.1

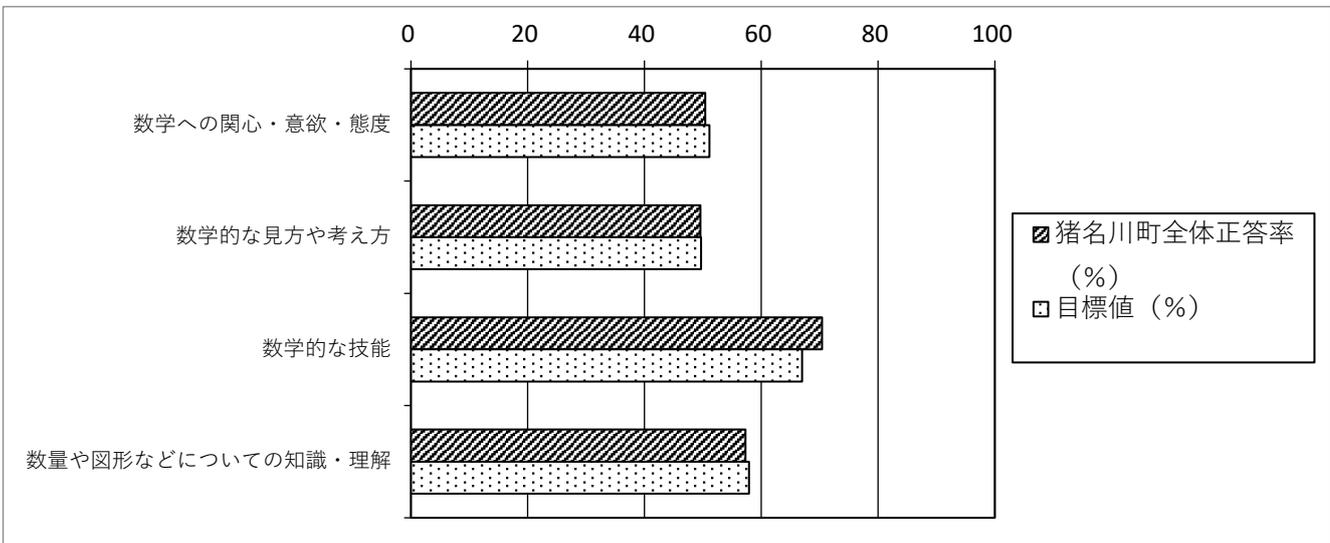


●領域別に見ると、「数と式」「図形」の項目が目標値を上回っている。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

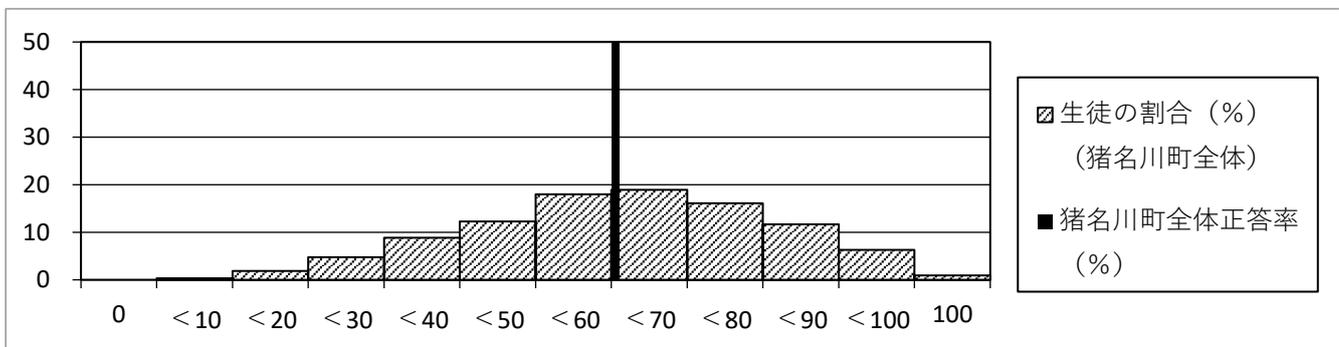
	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
猪名川町全体正答率 (%)	50.4	49.6	70.4	57.3
目標値 (%)	51.1	49.7	67.0	57.9
目標値との差	▲ 0.7	▲ 0.1	3.4	▲ 0.6



●観点別に見ると、「数学的な技能」以外の項目で目標値を下回っている。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.3	1.9	4.7	8.8	12.3	18.0	18.9	16.1	11.7	6.3	0.9



●町全体では、正答率80%以上の生徒が18.9%と、令和元年度の15.6%より増加した。正答率50%未満の生徒は28%と、令和元年度の41.8%より減少した。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問8(1)

【比例・反比例】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	43.2	60.0	▲ 16.8	45.7	▲ 2.5
出題のねらい	反比例の関係を表す表から、反比例の式を表すことができる。				
対策	誤答の主な原因としては、反比例の関係を理解していないこと、反比例の関係を表す表や式に習熟していないことなどが考えられる。 y が x の関数で、 $y=a/x$ (a は比例定数)と表されるとき、 y は x に反比例することを確認させる必要がある。 $y=a/x$ から $xy=a$ (一定)を導き、表の中の1組の x と y の値を代入して、比例定数 a を求めればよいことを理解させる。また、代入した x と y 以外の値の組を代入しても、同じ式が得られることを確認させるとよい。				

大問14

【空間図形】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	61.2	65.0	▲ 3.8	68.1	▲ 6.9
出題のねらい	底面積と高さが等しい円錐と円柱の体積の関係を理解している。				
対策	円錐と円柱の体積の求め方について、復習させる必要がある。底面積と高さがともに等しい錐体と柱体については、錐体の体積は柱体の体積の $1/3$ 倍となることを確認させたい。その上で、容器Aの体積は、容器Bの高さを $1/3$ にしたときの体積と等しくなることを理解させるとよい。				

大問15(1)②

【資料の散らばりと代表値】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	26.8	40.0	▲ 13.2	32.7	▲ 5.9
出題のねらい	累積度数について理解している。				
対策	誤答の主な原因としては、累積度数とは何かを理解していないこと、忘れてしまったことなどが考えられる。小さい方からある階級までの度数の総和を累積度数ということを理解させ、求められるようにさせることはもちろんであるが、それだけではなく、度数分布表やヒストグラムなどについても、それらの意味や見方について確認させるとよい。さらに、相対度数や累積相対度数などについても、求め方や、何のためにそれらが必要であるのかを考えさせると、より理解が深まる。				

大問16(3)

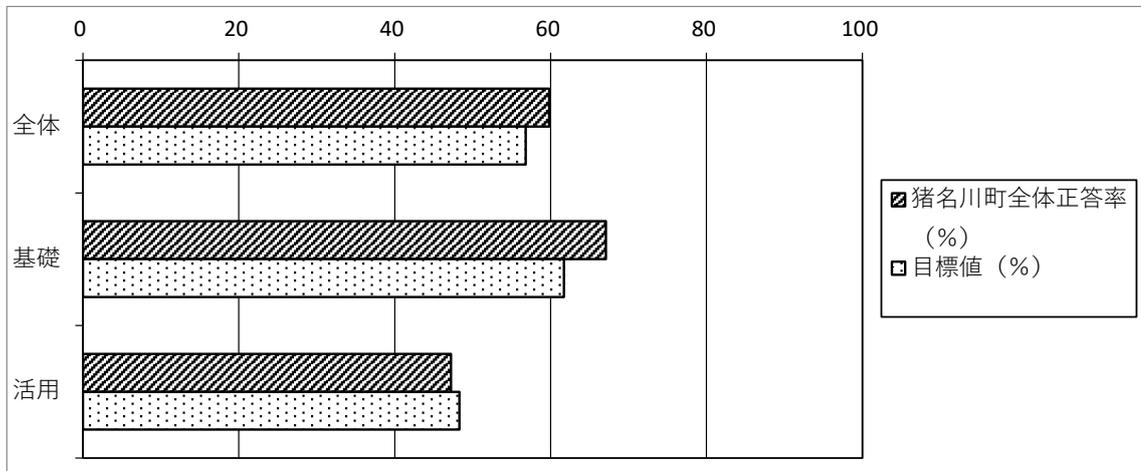
【文字式】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	9.5	30.0	▲ 20.5	13.1	▲ 3.6
出題のねらい	十字の形の模様を n 個つくるのに必要なタイルの枚数を、示された式で求めることができる理由を数学的に説明することができる。				
対策	誤答の原因としては、タイルの枚数を表す式と図2を関連付けて読み取れないこと、説明することに習熟していないことなどが考えられる。図2のようにタイルを囲むとき、1つ目の十字の形にはタイルを5枚使い、2つ目以降では4枚ずつ使っているから、十字の形を2個つくる場合のタイルの枚数は $5+4\times 1$ 、3個つくる場合は $5+4\times 2$ と表せる。十字の形を n 個つくるのに必要なタイルの枚数は、1つ目に5枚、2つ目以降は4枚が $(n-1)$ 個、したがって $4(n-1)$ 枚であるから、合わせて $5+4(n-1)$ 枚と表せることを理解させたい。				

■中学2年生 英語

(1) 基礎・活用正答率

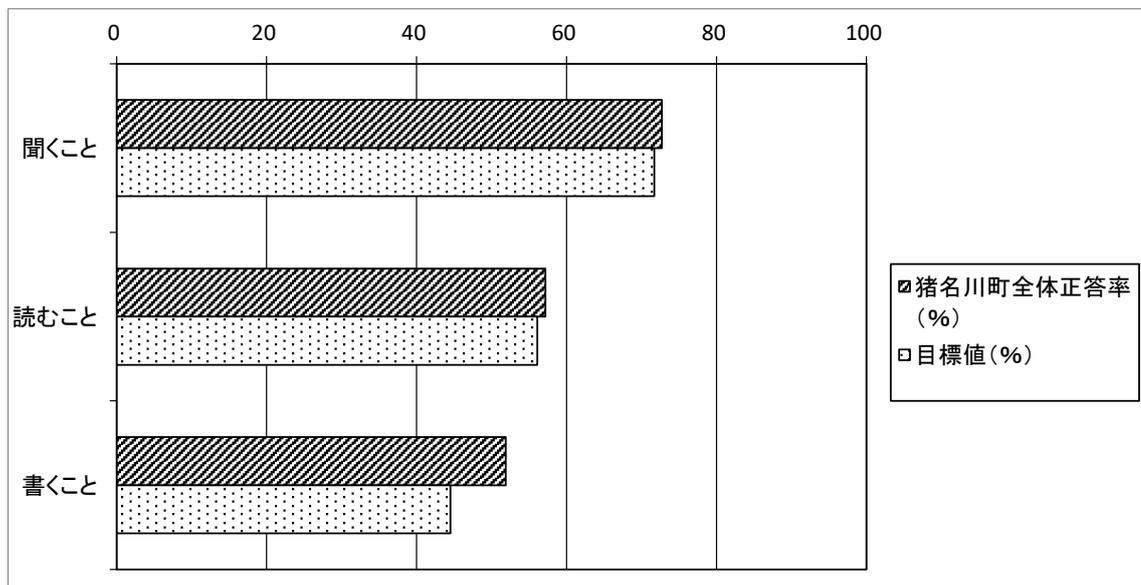
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	59.8	67.1	47.2
目標値 (%)	56.8	61.7	48.3
目標値との差	3.0	5.4	▲ 1.1



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は67.1%と目標値を5.4ポイント上回っている。活用問題は47.2%と目標値を1.1ポイントと下回っている。

(2) 領域別正答率

	聞くこと	読むこと	書くこと
猪名川町全体正答率 (%)	72.7	57.2	51.9
目標値 (%)	71.7	56.1	44.5
目標値との差	1.0	1.1	7.4

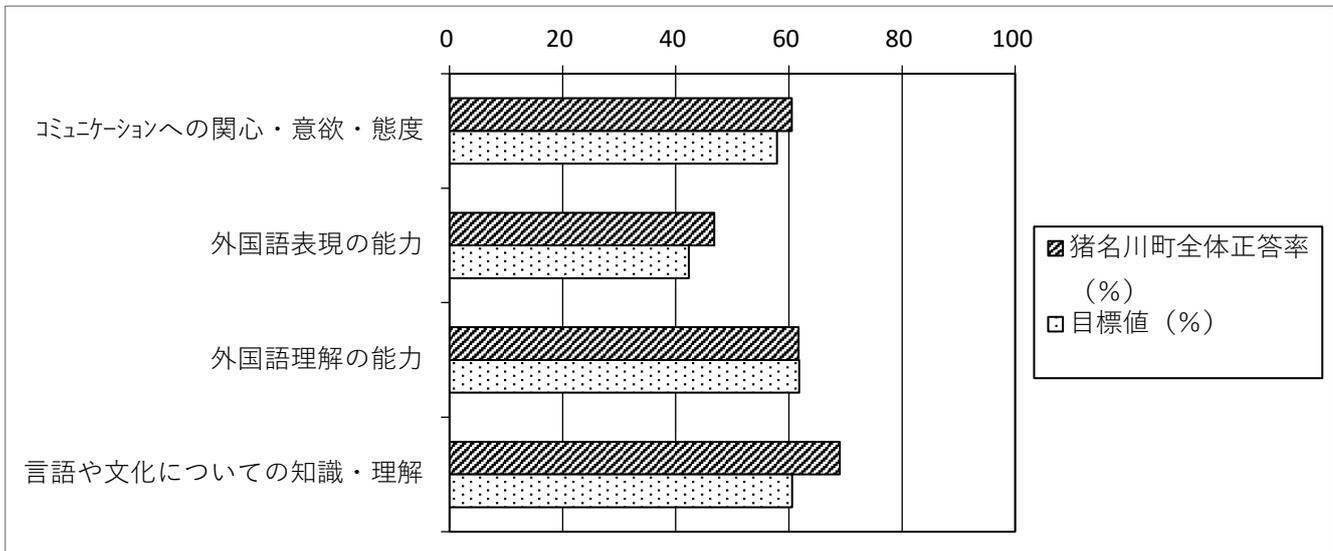


●領域別に見ると、すべての項目が目標値を上回り良好である。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

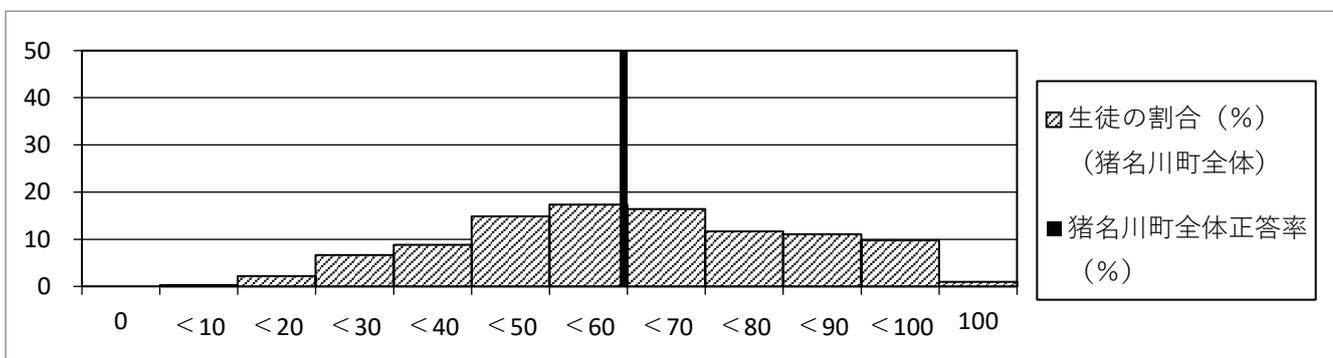
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
猪名川町全体正答率 (%)	60.5	46.8	61.7	69.0
目標値 (%)	57.9	42.3	61.8	60.6
目標値との差	2.6	4.5	▲ 0.1	8.4



●観点別に見ると「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語表現の能力」「言語や文化についての知識・理解」の項目が目標値を上回っている。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.3	2.2	6.6	8.8	14.8	17.4	16.4	11.7	11.0	9.8	0.9



●町全体では、正答率80%以上の生徒が21.7%と、令和元年度の24.4%より減少した。正答率50%未満の生徒は32.7%と、令和元年度の35.9%より減少した。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問3

【リスニング（さまざまな英文の聞き取り）】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	86.1	90.0	▲ 3.9	85.9	0.2
出題のねらい	英文の概要を聞き取ることができる。				
対策	英文内のfamily, walk with John, Monday, Thursday, my bedなどのキーワードを捉えられれば、正答するのが難しい問題ではないが、このような形式の問題に慣れておらず、戸惑う生徒も多いことが想定される。授業では、スピーチ活動を行い、絵や小道具などのvisual aidsを用いて発表活動をさせることや、教科書本文を暗記して絵を示しながら再生するstory reproductionのような活動を取り入れることによって、絵や写真を提示しながら発表することに慣れさせていくと、本問のような問題に答えるイメージが生まれると考えられる。				

大問6(1)④

【語形・語法の知識・理解】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	71.3	80.0	▲ 8.7	73.7	▲ 2.4
出題のねらい	語形・語法を理解することができる。(whose)				
対策	まず、whoseが「誰の/誰のもの」であるかを尋ねる疑問詞であることを押さえさせたい。なかでも、Whose+名詞の疑問文は、中学生にとって定着しにくい構文の一つである。what, which, whoseに関しては、すぐ後ろに名詞をとることができる疑問詞であることを、まとめの際に確認させる必要がある。日頃から、パターンプラクティスなどを用いて、十分に練習させることが大切である。本問では、さらに、mineが「私のもの」を表し、ここではmy guitarのことであることを理解させることが大切である。				

大問8(4)

【長文の読み取り】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	16.4	30.0	▲ 13.6	16.1	0.3
出題のねらい	読み取った内容をふまえて、英文を完成させることができる。				
対策	本問のような問題に対応する力を習得させるためには、授業において、教科書の手紙文を扱うときに、手紙の書き手への返事を書かせる、教科書の本文内容に対する自分の意見を書かせるなどのライティング活動を行わせることが考えられる。その際、生徒の書いた文章について、文法事項やスペリングを指導するだけでなく、気持ちを込めた手紙であるか、説得力のある理由を簡潔にまとめられているか、といった観点からも確認していくことが大切である。				

大問12

【3文以上の英作文】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	38.3	45.0	▲ 6.7	37.0	1.3
出題のねらい	自分の出身地について、まとまった内容で説明する文を書き表すことができる。				
対策	与えられたテーマ（自分の出身地）について書くことができるかを見る問題であり、I'm fromに続けて書く必要がある。ここでは、第2文以降に、自分の出身地について説明する文を付け加えて書くことが求められている。話題を一つに絞り、具体的に書き足していく練習を積ませることが大切である。				